

当院におけるCTC検査の現状

JA 岐阜厚生連 西美濃厚生病院 放射線科

○三輪 正治 今井 信輔 橋本 英久

【はじめに】CT 装置更新に伴い CTC (CT colonography) 検査が行えるように環境を整えた。そこで、実際に当院職員にボランティアを募り、前処置の方法を変えて CTC 検査を行ったので、その前処置方法決定の経緯から実際の検査について報告する。

【使用装置及び機器】CT 装置 Aquilion PRIME (東芝社製 80 列 MDCT)・炭酸ガス注入装置:Radico2lon(メドラッド社製)・ワークステーション:Virtual Place 新(AZE 社製)

【前処置検討方法】前処置統一事項:検査前日の朝食後、昼食(検査食)後、夕食(検査食)後にガストログラフィン 5ml と水 200ml 飲用する。夕食後 2 時間後にラキソベロン飲用。洗腸剤飲用方法:①. マグコロール P、ガストログラフィン、ガスコンドロップと水 750ml の混合液 800ml を検査前日の夕食後 400ml と検査当日に起床後 400ml に分けて飲用する。
②. ①と同様の混合液を水 400ml (総量 450ml) として検査当日の起床後のみ飲用する。
③. ①と同様の混合液を水 200ml (総量 250ml) として検査当日の起床後のみ飲用する。

以上の 3 つの飲用方法について比較した。

【結果】3 つのパターンの前処置については全く評価不能となるようなことはなかったが、前処置③ではわずかに固形の残渣があったこと、前処置①では飲用する量が多すぎるという意見もあり、②の前処置で今後は検査を行うこととした。

【結語】CTC の有用性と課題を理解した上で患者への負担が最も少なく、より早く、正確に検査が行えるように今後も工夫を重ねながら検査を進めていきたい。